

議会報告会実施報告書

開催日時	令和4年11月12日 14時00分～15時00分			
開催場所	三島市役所大社町別館 防災研修室			
出席議員	班長	甲斐 幸博	副班長	岡田 美喜子
	鈴木 文子、石井 真人、河野 月江、大房 正治、古長谷 稔			
欠席議員	なし			
参加人数	3人			
実施内容	1 出席者自己紹介 2 議会報告 (1) コロナ禍に伴う物価高騰に対する要望書の提出について (2) 中心市街地活性化について 3 質疑応答・意見交換 ～中心市街地活性化について～			
主な意見 ・提言等	別紙のとおり			

令和4年11月30日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会報告会実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

令和4年度議会報告会 経済建設班 班長 甲斐 幸博

委員会のテーマに対する意見交換の主な内容

【中心市街地活性化について】

・それぞれの議員が山形市を視察したことも踏まえて、力を入れたいと考えている点を聞かせてほしいとの意見あり、最初に各議員がポイントを洗い出し、意見が整理された。

1. 山形市と比較したとき、三島市が力を入れるべきポイントの洗い出し

- ・御殿堰という取り組みが三島に合っていて取り組みたい。
- ・Q1 という施設が、みしま未来研究所の大きい版といった感覚の場所。若いクリエイティブな人が入った施設。リノベーションして使用していて参考になる。
- ・街の中で椅子を使った実証実験をしているのが興味深かった。
- ・市として実証実験に果敢に取り組んでいる印象。仕組み改善のための実証実験が有効。
- ・学生を街の中で普通に見かける街づくり。学生の生活拠点の誘致は三島でも効果的。
- ・市民の行動、意識や実態がわかる調査を基に検証しながら進めている点が素晴らしい。
- ・ポテンシャルを掘り出して活かして研ぎ澄ます、そのやり方に学ぶところがあった。
- ・三島には天然の資源がしっかり街の中にあるということを再認識できた。
- ・五感で感じる住みやすい街を目指している点に共感した。
- ・三島でも三島駅の南側に大学生に住んでもらえる工夫は有効。
- ・三島は街中にも郊外にも魅力があるのに、魅力がうまく活用できていない。
- ・三島は裏路地を活かしきれしていない。
- ・山形市と比べて三島市は半分の面積のイメージ。端的に比較はできないが、これからは高齢化になってくる中で、三島市は開拓の余地がある。コンパクトシティの流れ。
- ・山形市の半分の面積の三島は歩くのにもちょうどよいのでは。名所と名所の距離が長くて、山形は少し長すぎる。
- ・エリアマネジメント協議会が将来的にNPOや株式会社に移行させていく考えは有効では。

2. 大学生が住みやすい中心市街地に

・日大の学生を街中にといい意見に対して、日大としては、ほとんどの学生が幸原周辺に住んでいて、駅の南側は安い飲食店などがないという学生の意見。

- ・市内の空き家をリノベーションして学生が何人かで住める形に誘導してはどうか。
- ・空き家、空きビルの有効活用について、県が補助している仕組み参考になる。
- ・学生の家賃を安くすると言っても、ただ安くせず、代わりに大学生に老人のケアをする仕事を与えて、その分安くするという仕組みもいいのでは。

3. 看板建築について

- ・三島市内にも看板建築がある。もう少しピックアップして、光を当ててはどうか。
- ・大正から昭和5年くらいまでの間に建てられた建物。100年をめぐりに光を当てる。
- ・建て直さざるを得ないときに、条件として、正面はしっかりと看板建築にして残してもらい、後ろ側は好きにやっていいという方法もあるのでは。
- ・三島で可能性があるとなれば、鎌倉古道の辺りがやりやすいのではないか。
- ・田中産婦人科とか渡辺質屋の裏側なども可能性あるのでは。
- ・珍しい灯籠などもある。そういう一つ一つをピックアップして光を当ててはどうか。

4. 三島の特性を生かして

- ・コンパクトなだけに、三島市の中心市街地は比較的まとめ上げるのは楽なはず。
- ・歴史ある三島だからこそ、できることがあるのでは。
- ・三島検定、古地図巡りなどコンパクトな中にも歴史がある。発信できる可能性あり。
- ・三島のいいところ百選という考えもあるが、スモールスタートが良いかも。
- ・三島暦もPRすれば素晴らしい。
- ・梅花藻もそう。市民の皆様に聞いてポイントを絞って、いかにPRしていくか。
- ・箱根の里ももう少し活用したい。星空撮影のメッカになり得る。
- ・やっぱり富士山。
- ・利便性の良さ。恵まれすぎていて住んでいる人は意外と三島の良さに気づいていない。

5. 磨きあげていく手法について

- ・議員一人一人が自分の磨き上げたいポイントを出し合って磨き上げていってはどうか。
- ・三島市民がこれを大事にしたいという気持ちが盛り上がって、初めて他所の人からも魅力があるように映るのでは。
- ・テーマを絞って、議員が寄り合って、それぞれの議員が思い入れをもって議論を深めて

いく手法を提案いただけてすばらしい。

- ・まずは市民を納得させる取り組みが大事という考え方に共感。
- ・「ここが好き」という気持ちから発信していくのはいい。

6. 回遊性について

- ・角館が参考になる。例えば、三島駅南口でバスを降ろして、歩いて食べてお土産を買って、その先の佐野美術館でバスが迎えに来るようなパターンを考えればよいのでは。
- ・バスの停まる場所をしっかりと位置づけする。
- ・ルートを3つくらい決めて、食べ物屋とも提供して、自由に食べて、この時間までにここに来てくださいというやり方ができるのではないか。
- ・三嶋大社でトイレ休憩だけという形はもったいなさすぎる。
- ・歩く街にしては、街中にベンチが少なすぎる。

7. 産業も大事

- ・観光以外の産業があるか。
- ・若い人が住んで仕事をしようという、雇用の受け皿となるような産業があるか。
- ・例えば、若い人が起業しやすい街という売り出し方もあり得るのでは。

8. 水の心配がある

- ・東レがいつか移転した時に、水がどうなるのかを想定しておく必要があるのではないか。
- ・御殿場・裾野・長泉の議長が集まった時に、水を節約する会議を立ち上げようという話しが一時期進んだ。これを何とかできないか。
- ・下流の市町が集まって対策会議をしても仕方ないのでは。
- ・長泉が工業団地を想定した時点で、脱退してしまった経緯がある。

9. その他の意見等

- ・富士山のお土産が全然ない、他県から見ると富士山の価値が高いのに。
- ・風土の2階のあひる図書館のオーナー交流会、よそ者から見た評価が参考になる。
- ・日大の学生食堂に市民が入れることPRして、市民が学生と交流できるとお互いに良い。